

小麦奨励品種「シラネコムギ」について

1 試験のねらい

栃木県の小麦の奨励品種はこれまで農林61号、フクホコムギ、農林50号の3品種であった。そして、冬期間の寒さの厳しい県北部中山間地帯では、本来適品種とされる農林50号が晩生で倒伏しやすいことから、県中南部向けの農林61号やフクホコムギが作付られてきた。しかし、これらの品種は寒害や凍霜害に弱く、収量・品質とも不安定であり、耐寒・耐凍霜害性の良質・早生・強稈品種が強く望まれてきた。こうした要望にこたえるため、昭和55年度～60年度にかけてこの品種を検討した。

2 試験の経過

本品種は長野県農事試験場により育成された品種で、昭和44年度に行れた北陸49号×東海80号の交配から選抜固定されたものである。本県では昭和55年度より配布を受け、奨励品種決定調査予備試験、本試験、現地試験等で各種栽培特性、地域適否を検討してきた。また、粉の品質については昭和59年産、60年産の収穫物について製粉協会に依頼して評価を行った。

これらの結果、成績が良好であったので、昭和61年度に奨励品種に採用した。

3 特 性

(1) 形態的特性

叢性（冬の間の草型）はやや匍匐し、成熟期の株は閉じていて穂揃いは極めて良い。稈の太さは農林61号程度の中であり、稈質はやや剛に属する。稈長は農林61号より短く、穂長及び穂数は同程度である。粒の形は中、粒の大きさはやや大で、粒色は赤褐色である。千粒重、 $\emptyset$ 重は農林61号と同程度かやや重い。

(2) 生態的特性

播種程度はⅣで、茎立性は農林61号より遅く中に属し、凍霜害を受ける危険性は少ない。出穂期は農林61号より1～2日遅いが、成熟期は同程度かやや早い。耐寒性、耐雪性、耐凍上性は農林61号より優っている。また、耐倒伏性も優り強である。穂発芽性は難である。うどんこ病にはやや強いが、赤さび病、赤かび病については農林61号と同程度である。

(3) 収量及び品質

収量は農林61号と同程度かやや多収である。外見品質は同程度かやや良い。

粒の硬軟は中、粒質は中間質である。製粉歩留やミリングスコア等の製粉特性や粉の色、小麦粉生地特性および製麺適性は総じて農林50号に優り、農林61号と同程度である。

4 普及地帯及び栽培上の留意点

- (1) 普及地帯は県北部中山間地帯で、普及見込面積は800 ha である。
- (2) 耐寒性・耐凍上性は優れるが、適期播種により穂数の確保に留意する。
- (3) 多肥で多収の傾向があるので、せき薄地では短稈、穂数減にならないよう施肥等に留意する。
- (4) 赤さび病、赤かび病については農林61号と同様、強いとはいえないので、うどんこ病とあわせて防除に努める。

表1 生育・収量調査成績

試験地	品 種 名	出 穂 成 熟 期		穂 長		穂 数	寒 害	倒 伏	赤 病	うどんこ病	赤 病	子 実 重	対 準 比	粒 重		外 見 品 質
		月 日	月 日	cm	cm	本/m ²						kg/a	%	g	g	
本 場	シラネコムギ	5. 6	6.24	95	9.1	501	—	1.0	0.8	0.5	1.0	55.8	111	775	33.0	中中
	農林61号	5. 4	6.24	100	8.9	505	—	3.7	0.7	0.9	2.0	50.4	100	774	31.7	中中～中下
	農林50号	5. 6	6.26	94	9.2	552	—	4.1	1.3	0.4	1.3	52.1	103	740	25.7	下上
	フクホコムギ	5. 2	6.20	92	9.1	471	—	2.2	2.7	0	1.3	54.7	109	762	31.5	中下
黒磯分場	シラネコムギ	5.17	7. 1	84	8.5	405	1.0	0.	1.0	0	—	40.0	112	762	37.9	上下
	農林61号	5.16	7. 3	89	8.8	384	4.0	1.3	1.0	0.5	—	35.7	100	757	37.2	中上
	農林50号	5.17	7. 4	86	9.2	438	1.0	1.3	1.0	0.5	—	37.3	104	738	31.5	下中～下下

注1. 本場は畑標準昭55～60年度平均、ただしフクホコムギは昭57～60年度平均。

2. 黒磯分場は畑標準昭58～60年度平均。ただし、寒害は59年度の成績で主として12月の降雪につづく1月の低温乾燥による凍上害。

表-2 幼穂分化程度調査成績

試 験 地	品 種 名	幼 穂 長		幼穂分化程度
		mm	mm	
黒 磯 分 場	シラネコムギ	6	1.3	IV-後
	農林61号	44	2.2	X*
	農林50号	5	1.7	VII後～VIII
黒 磯 市 (木 綿 畑)	シラネコムギ	5	1.4	VII-後
	農林61号	25	2.1	IX-中
本 場 (標 準 畑)	シラネコムギ	8	1.8	VIII
	農林61号	16	1.9	IX前～中
	農林50号	9	1.9	IX-前

注1. 調 査 日 本場昭和61年4月7日、他は4月4日。

2. 調査方法 各々10個体の主稈について分解調査。

3. 黒磯分場の農林61号*印は2個体幼穂凍死。

4. 幼穂分化程度 IV～VIII 小穂分化期 IX～X 穎花分化期

表-3 製粉製麺特性調査成績

品 種 名	製粉特性		粉 の 性 状					製 麵 適 性							ゆでめん歩留 %
	歩留 グスコ % ア	ミリン	灰分 %	たん 白 質 %	色		アミロ グラム B. U	色 外 観		食 感		食味 (匂い)	合 計 点 (100)		
					R46	R55		(25)	(20)	かたさ (10)	粘弾性 (25)	なめらかさ (10)			
シラネコムギ	66.4	82.4	0.37	11.4	58.3	73.3	638	22.3	14	7.5	18.8	8	7	77.6	341
農林61号	64.6	80.6	0.37	11.0	57.6	72.9	510	17.5	14	7	17.5	7	7	70.0	333
農林50号	65.0	83.0	0.33	11.1	57.5	73.2	330	17.5	14	7	17.5	7	7	70.0	342
フクホコムギ	65.8	80.3	0.39	10.1	57.8	72.9	335	20.0	16	7	17.5	6.5	7	74.0	330

注1. 製粉特性、粉の性状は昭58、59年度本場畑標準栽培における収獲物について製粉協会で分析した結果の平均。

2. 製麺適性、ゆでめん歩留は上記のうち59年度1年の成績。

(担当者 作物部 藤井敏男 倉井耕一 石川成寿 栃木喜八郎 奥山隆治* 米内貞夫* 太田 章*
前波健二郎* 荒井忠夫* 岡村五郎* 神山克己* 相吉沢秀夫 小林俊一(注*は前任者)
黒磯分場 古田土 通 栃木分場 野沢清一 佐野分場 若田部紀国
黒磯、大田原、鹿沼、足利農業改良普及所および各現地試験担当農家)